

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(ふるさと納税業務担当)
むくの みさき
椋埜 未咲

Q 協力隊の任期もあと少し。どう活動していく予定ですか？

A 仕事の方は、じわじわと引き継ぎ書やマニュアルの整理を進めているところです。繁忙期に入る直前に任期が終わるということで、卒業後ふるさと納税を担当していく皆さんに、自分のわかる範囲のことは伝えていきたいと思います。また、任期終了後は、ハンドメイドの仕事をしながらか、ほかにもいくつか掛け持ちをしていこうと思っています。今年の春から、自分でもハンドメイドの仕事やイベントでの出店を始めていて、日曜日や幡多県内のイベントにも積極的に参加しています。洋服や雑貨、編み物など、手広く作っています。

Q 来た当初と今で感じる黒潮町の印象の違いは？

A 当初は「黒潮町＝海」というイメージが強かったのですが、山間部の方にも入っていく機会があり、今まで見えていなかった山や川の魅力も見えて来たし、「意外とこの町って広いんだな」と思いました。山側のことも今後もっと知ってみたいと思います。

Q 3年間を振り返ってみてどうですか？

A 来た当初は、3年後どうやって暮らしていこうかと思っていました。周りの方が気にかけてくれて、手芸という分野を求めてくれる方がいて、それで頑張っていこうという気持ちになり、良い意味で背中を押してもらいました。何も考えずに来たけど、この町に来たことで、将来に続くきっかけをたくさんもらいましたね。言葉や態度で示してくれる人がたくさんいて、良い人に出会えたから協力隊の任務もここまで続けられたし、この町にいたいと思えたのだと感じます。



海辺の日曜日での出店の様子

協力隊から一言!

10月には卒業をひかえています、引き続き町内で暮らしていく予定です。よりディープな黒潮町の魅力に出会えることを楽しみにしています。

Kramer's Corner クレマのコーナー



今月のテーマ 夜空にいる熊たち

僕は昔から夜空に魅了されています。星を見上げる度にもっと見えるように街の明かりを全て消したいなと思いました。そして自分の目で天の川がずっと見たかったです。先月その夢を追いかけて星空を邪魔する明かりから遠く離れている四国カルストに行き、「星ふるヴィレッジTENGU」というホテルに泊まりました。昼間は曇りでしたが、夜中に空が晴れ、無数の星とぼんやり光っている天の川が目の前に広がりました。やっと夢が叶いました。それに、そのホテルで星座の話聞き、僕の星への興味がさらに深まってきました。その話の1つは夜空にいる熊の親子の大熊座と小熊座の話でした。大熊座は名前の通り大きく、見つけやすい星座です。ひしゃくの形をする明るく輝く北斗七星が見つかれば、熊の尻尾と胴体が見つかりました。小熊座の方が薄暗く見つけにくいですが、お母さんの近くにいるはず。北極星を探せば、それが小熊の尻尾の先です。

そして全ての星座には面白い神話があります。熊たちの場合は、大熊は元々ギリシャ神話の神々の王ゼウスとの間に子供をもうけたカリストという美しい女の人でした。それを知ったゼウスの妻ヘラは怒りに燃え、カリストを熊に変えました。ある日、狩りに出かけたカリストの息子は、それが母親だと知らずに大きな熊を見て弓で狙いました。ゼウスは2人を救うために空に投げました。そこで2人が星に変わり、大熊座と小熊座になりました。ちょっと悲しい物語ですが、最後に親子は夜空で永遠に一緒にいられるようになりました。



星空



四国カルスト

今月の使える! 英語

Let's go stargazing! 星を見に行きましょう!

Stargazingはスターゲイジングと発音し、星空観賞という意味です。黒潮町の星空もとてもきれいですから、ぜひ夜空の熊の親子を探してみてください。

